

令和2年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.		11-	10
事業名	商工業振興事業費	会計	款	項	目
		一般	7	1	1
施策	5 賑わうまち	課名	産業課		
	5-1 働きがいのあるまちをつくる	係名	産業振興係		
	5-1-3 商業・サービス業の振興				
主要施策	①近代的、魅力的な商業活動の促進		③指導支援体制の強化		

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	町内小規模事業者	目的 (対象がどのような状態になっているか)	商工会への助成を行うことで、魅力ある商工業の振興を図ります。
事業内容	商工業振興事業 経営改善や地域振興のための組織強化を行い、魅力ある商工業の振興を図るとともに、地域産業を主体とした、経営改善の指導ができるよう商工会への補助事業を通じて、小規模事業者への支援を行います。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

		指標名	平成30年度	令和元年度	令和2年度	単位	目標方向	令和2年度 (目標)
指標	1	商工会会員数 (法人・個人)	494	498	502	人	→	470
	2	商工会加盟商店数	229	231	230	店	→	220
	3							
	4							
	5							
			令和元年度 (決算)		令和2年度 (決算)		令和3年度 (予算)	
全体事業費 (千円) A+B			28,351		76,971		17,842	
財源内訳	直接事業費 A		25,711		74,331		14,212	
	うち一般財源		15,788		74,331		14,212	
人件費 (千円) B			2,640		2,640		3,630	
内訳	一般職員 (人・千円)		0.40		2,640		0.55	
	臨時職員 (人・千円)		0		0		0	

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		町関与の必要性	C 民間企業やNPOで担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	B 削減の余地がややある
総合評価	III 要改善 (少しでも事業内容に改善の余地があり取り組むべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R2年度の改善計画		③取組の課題	新型コロナウイルス感染症の影響を受けた飲食店等に対する支援が必要である。
②R2年度に実施した取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 商工会による小規模事業者への経営改善の指導等に係る補助金の交付した。 国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業を活用し、中小企業等の経済対策として協力金及び給付金を支給した。 	④今後の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> 国の第3次補正を活用するなど、飲食店等へ支援策を検討する。 商工会補助金については、基準等が定めていないことから、他市町の状況や妥当性を検証し、慎重に協議を重ねる。